



<p>教育長</p>	<p>ただいまから、平成30年第8回大崎市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>出席委員定足数に達しておりますので、本定例会は成立いたしました。これから会議を開きます。</p> <p>本日の議事日程は、お手元に配布の議案書のとおりでございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>はじめに、平成30年第7回定例会の会議録の承認を求めます。</p> <p>内容について、ご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p> <p>ご異議ないものと認め、会議録を承認いたします。</p> <p>次に、本日の会議録署名委員を指名いたします。</p> <p>若見委員、お願いいたします。</p> <p>また、本日の教育委員会定例会への傍聴者については、いらっしゃらないことを報告いたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>続いて、私から教育長報告をさせていただきます。</p> <p>総務常任委員会があった関係で、そこでも説明をしておりますが、各学校において夏休みを終えたということで、少し詳細に説明をさせていただきたいので、少々時間をいただくことをお許しいただきたいと思っております。</p> <p>およそ、ひと月におよぶ各学校の夏休みも終わり、幼稚園、各小中学校は、今週から2学期が始まりました。</p> <p>本年度統合となった岩出山小学校へ通学の具合を確認するつもりで学校に入ったところ、ちょうど始業式であったため、参加させていただきました。校長先生の話真剣に聞く子どもの姿がとても印象的で、統合後の和やかな雰囲気の子も達が見られたところでした。また、心配されていた通学路の安全について、見守りボランティアとして民生委員、更生保護婦人会の方々へ声をかけたところ、地域の有志の方々も含め、交代しながらボランティアとして見守っていただいております。その中から代表して数名の方に始業式へ参加いただき、子ども達へ紹介を行いました。本当に感謝です。</p> <p>今年の夏は猛暑であり、本来であれば、暑いからプールに入りますが、熱中症対策のためにプール利用の中止を余儀なくされる日があるほど異例の夏休みとなったところであります。</p> <p>この夏休み期間中、園児や児童生徒には、特に大きな事故もなく、学校、地域、子供会等で予定されておりました各種行事も無事終了いたしました。</p> <p>園児や児童生徒それぞれの貴重な体験をこれからの学校生活にも活かしてもらいたいと願っております。</p> <p>この夏休みの期間中に管理職等を対象とした学校運営研修会をはじめとして、教職員向けの各種研修会を実施し、いじめ、学習指導の在り方についての知識・理解を更に深め研鑽に努めたところでございます。</p>

次に、7月30日から行われました「全国中学校総合体育大会東北大会、並びに全国大会出場結果」についてご報告申し上げます。

東北大会には、市内中学校から6種目8校が出場し、上位入賞を数多く果たすなど、大きく躍進した大会となりました。

その中でも、団体部門では、岩出山中学校の卓球女子が準優勝という輝かしい成績を収め、また、個人部門では、剣道女子で古川中学校の竹村楓香さんが、それぞれ、広島市、岡山市を会場に、8月22日から行われました全国大会へ出場したところでございます。

卓球女子団体は予選リーグで、剣道女子個人では、2回戦で惜しくも敗退となりましたが、全国の強豪校、選手を相手に堂々と戦ってきたとの報告を受けております。

日々の練習の成果が、結果に結びつきました。生徒たちのひたむきな努力に心からエールを送りたいと思います。

次に、学校教育部門、生涯学習部門等における主な事業についてご報告いたします。

7月下旬から各中学校区で、そして1つの小学校を会場として、自主的な学習の支援、さらには家庭での学習習慣を身に付けることを目的とした夏休みのサマースクールを実施してきたところでございます。

相談員、支援員、学生ボランティアの総勢74名の協力を得て、本年度は468名の児童生徒が参加いたしました。

寄せられましたアンケートや感想等を踏まえ、課題を整理し、冬季、または、次年度に向けた学び支援事業の充実に活かしていきたいと考えております。

次に、8月15日には、鳴子温泉地域で成人式が行われました。新成人44名が出席し、暑さ厳しい中での開催でありましたが、厳粛さの中にも和やかさがあり、一人ひとり誓いも新たに、清々しい姿を見せておりました。

恩師から当時の思い出と励ましの言葉を贈られ、式の後には、記念撮影や旧交を温める姿が非常に印象的でありました。

8月19日には、大崎管内1市4町で構成される大崎管内スポーツ推進委員協議会と北部教育事務所、生涯学習課が中心となって、「宮城ヘルシー2018 ふるさとスポーツ祭第30回北部管内大崎地区大会」が田尻総合体育館をメイン会場に行われました。

子ども達は、ベガルタ仙台から講師を招いてのサッカー教室、高齢者の方々については、グランドゴルフ交流大会、さらには、誰でも参加できるニュースポーツ体験会など、バラエティに富んだプログラムで、幅広い地域や年代の方々から400名のご参加をいただき、楽しく汗を流しながら、さまざまなスポーツに親しんでいただきました。

また、8月25日・26日の日程で、第45回東北総合体育大会、いわゆる「ミニ国体」が行われ、37の競技種目の中、大崎市を会場に軟式野球が開催されました。

30度を超える暑さの中、鹿島台中央野球場、三本木野球場を会場に東北6県から選手を始め、多くの関係者の方々を訪れ、10月に福井県で開催される国体を目指して、白熱した熱戦が繰り広げられたところであります。

次に、市民ギャラリー所蔵作品展についてご報告いたします。  
ギャラリーで所蔵しております美術作品340点の中から、本市を代表する書家 加藤翠柳と 高橋樹石の没後20年にあたり、その師弟関係と功績を紹介する展覧会を開催し、463名の方にご観覧いただきました。

また、翠柳のご子息による展示解説会には100名ほどの参加があり、地域における書芸家への関心の高さを伺えるものでありました。

次に、9月11日から開会いたします第3回大崎市議会定例会について、ご報告申し上げます。

学校管理経費では、6月に大阪北部で発生いたしました地震による学校プールブロック塀の倒壊事故を受け、実施いたしました安全点検の結果、危険箇所と判断された学校施設等の危険ブロック塀等の除去経費や学校敷地内における擁壁改修工事関連経費などの補正予算関連議案を提出する予定となっております。

また、これら議案質疑に加え、決算特別委員会、一般質問含めて、本定例会は10月5日まで行われる予定となっております。

最後になりますが、全国的に猛暑が続く中で、子どもたちの熱中症事故防止に向けた対策に万全を期しているところですが、各学校に対して、屋外の活動の自粛やこまめな水分補給の徹底について、夏休み期間中も含めて、児童生徒の健康管理に努めてきたところでありま  
す。政府においても、全国各地での記録的な猛暑を踏まえ、来年の夏までに全ての小中学校に対しエアコンを設置するため予算措置を図る方針や自治体への補助の在り方も含めて見直す考えが8月20日に示されたところでございます。

このような気候変動による気温上昇については、大崎市も決して例外ではなく、非常に危惧される事態であると認識していることから、教育委員会といたしましても、子どもたちの健康と安全安心な学習環境を守るために、政府における今後の財政支援の動向を注視しながら小中学校施設へのエアコン設置を検討してまいりたいと考えているところでございます。

以上で、教育長報告を終わります。

教育長

この件について、何かご質疑はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

それでは、質疑がないものと認め、教育長報告につきましては、以上とさせていただきます。

教育長

続いて議事に入ります。日程第1 議案第29号 「大崎市体育施設広告掲載要領の一部を改正する要領について」を議題といたします。

生涯学習課長 説明願います。

生涯学習課長

( 説 明 )

教育長

ただいまの件につきまして、質疑はありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長	質疑がなければ、本案についてご異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。
教育長	次に報告事項に入ります。 「平成29年度大崎市公民館事業実績報告について」 中央公民館長 報告願います。
中央公民館長	( 説 明 )
教育長	ただいまの件につきまして、質疑はありませんか。
松本委員	少年教育について、丁寧な説明をいただきましたが、その事について伺いたいのですが、No.73からNo.77、夏休み中に実施されるサマーキャンプなどの行事について、古川地域の中心部の小学校対象の事業はないのでしょうか。
中央公民館長	古川地域につきましては、No.78少年教育のなんでも体験わんぱく塾とこれのジュニア版を通年実施している事業もありますし、夏休み期間中に夏休み子ども物づくりワークショップを講師の先生を招いて実施しておりました。
松本委員	最近、地域の子供会活動がかなり減少しておりまして、夏休みのキャンプ的な行事の経験をするということが少なくなっていると感じております。No.73からNo.77までの行事は子供たちにとっても良い思い出になりますし、そういった体験が有意義な成長に効果が出ると感じております。 館長から物作りに関する行事がありますとのことでしたが、キャンプ的な体験をできる行事を考えていただければと思います。
中央公民館長	説明が足りませんでした。No.78のなんでも体験わんぱく塾とありますが、これは1年を通しての事業ではあるのですが、夏休みの期間中、例えば今年ですと、志津川自然の家に行って様々な体験をしておりますし、そのジュニア版については、親御さんと一緒に東松島の方で貝拾いを行い、それを利用した作品を作ったり、そういった事業を実施しておりました。
松本委員	キャンプ的な行事を子どもたちに体験させたいと感じています。家庭においてその様な体験をしていることもあるかと思いますが、親元を離れて子ども同士で自立を促す体験をすることが良いかと思ひ提案させていただきます。
中央公民館長	わんぱく塾の中で秋にキャンプも実施しており、花山少年自然の家で一泊二日で予定をしております、1年を通していろいろな体験をしていただく事業となっております。
松本委員	分かりました。詳しい説明をしていただきありがとうございました。

若見委員	<p>松本委員と同じような質問になってしまうのですが、ジュニアリーダーの育成について、古川地域においては、高校生が指導者になるタイプの育成事業というのは現在ないと思いますので、次年度位から、是非具体化して計画を立てていただければ良いと思うことが1点と、大崎市はラムサール条約湿地帯が2つございます。ユースラムサールという制度がありまして研修をさせるとか、そういった事がいろいろな所でありますので、活用をしながら大崎市の子どもたち、青少年を育成していただければ嬉しいなと思い発言させていただきます。</p>
中央公民館長	<p>ジュニアリーダーの育成につきましては、生涯学習課とともに実施しているところですが、古川地域でジュニアリーダーの活動がないと私も感じておりますので、今後検討させていただきたいと思います。</p>
若見委員	<p>お願いいたします。</p>
生涯学習課長	<p>ジュニアリーダーの話が出ましたので、教育に関する事務の管理及び施行の状況の点検評価の中でも、ジュニアリーダーのことを話題で出させていただきました。ジュニアリーダーの育成については、委員の皆様にご心配をおかけしているところでございます。</p> <p>いろいろな角度からジュニアリーダーを育成しようということで、研修や活躍の場を見つけながら進めておりますが、まだ足りないのかなと反省をしているところです。</p> <p>今、中央公民館長が申し上げたとおり、中央公民館のみならず、基幹公民館の担当職員と今後どのようにしてジュニアリーダーを増やし、そのジュニアリーダーが大人になった時に地域の中で活躍できる人材にまで行けるように、今後人材育成の事業と絡めながら展開していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
青沼委員	<p>生涯学習全体の課題といたしますか、事業数だけではないですが、一覽を見ますと、バランスの悪さというか、考えていかなければいけないことが沢山あると、私は感じております。</p> <p>少年教育のNo.66、これも質の問題ですよ、数があればいいというものではない。青年教育、青年団についても活動はあるものの参加する人がいない。青年教育といっても、あえて、一般から募集しても来るといことがほとんどないわけですよ、ですから、高校からつながりながら、声がけしてということになると思います。</p> <p>家庭教育の話になりますが、家庭の中で、子どもが興味を示したとしても、そういった行事等に行かなくてもいいから、勉強しなさいという話になって、そこで終わってしまう。ですので、ここでいろいろな質問をされても、実際には、声をかけても集まらない、開催しても出てこないというのが現状と思われま。ここは非常に大きな部分だと思うのですが、そこが落ちているので、家庭教育をしっかりと行っていかないと、その他の問題にもつながるので、厳しいのではないかと思います。</p> <p>青年教育と家庭教育の二つについて話しましたが、今後の課題として、しっかり見つめていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>それでは、関係課を中心にしながら、もう少し議論を深めて取り組んで行きたいと思っております。</p> <p>ほかに質問等はございませんか、なければ、本報告については、了といたします。</p>

